

# 授業科目 身体障害作業療法学実習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
大山峰生、鈴木 誠 今西里佳		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
		【概要・一般目標：G10】 脳血管障害や神経筋疾患、整形外科疾患などによって生じる身体の障害に対して、科学的な評価をもとに、効果的な作業療法を実践するために、その理論や手段、手技について学ぶ。			
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 主たる疾患の臨床像について説明できる 2. 臨床像と生活機能から適切な作業療法評価を実施できる 3. 対象者の生活機能と障害について説明し、問題点を抽出できる 4. 主たる疾患の医学的治療内容に則した作業療法プログラムを立案できる 5. 立案した作業療法プログラムについて、実践できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳血管障害の臨床像（急性期・回復期・維持期）			1	講義, 実習
2	脳血管障害の上肢機能回復			1, 2	講義, 実習
3	脳血管障害の上肢機能代償			2, 3	講義, 実習
4	脳血管障害の日常生活活動と代償			1～5	講義, 実習
5	頭部外傷の作業療法			1～5	講義, 実習
6	関節リウマチの作業療法			1～5	講義, 実習
7	骨折の作業療法			1～5	講義, 実習
8	末梢神経損傷の作業療法			1～5	講義, 実習
9	腱損傷の作業療法			1～5	講義, 実習
10	切断の作業療法			1～5	講義, 実習
11	神経変性疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症）の作業療法			1～5	講義, 実習
12	神経・筋疾患（ギランバレー症候群、筋ジストロフィー、多発性筋炎）の作業療法			1～5	講義, 実習
13	呼吸器疾患・循環器疾患の作業療法			1～5	講義, 実習
14	熱傷・ターミナルの作業療法			1～5	講義, 実習
15	まとめ			1～5	講義, 実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		身体機能作業療法学	岩崎テル子編	医学書院	2005
		ハンドセラピー入門	中田真由美、大山峰生	三輪書店	2006
参考書		OT臨床ハンドブック	聖マリアンナ医科大学OT	三輪書店	2007
		作業療法技術ガイド	石川斎、古川宏	文光堂	2007
その他の資料					
【評価方法】 出席＋定期試験の結果を総合的に判断する			【履修上の留意点】		